

新聞紙でエコ鉛筆づくり

本紙部長らが親子ワークショップ

奥村代表（手前左）の指導でペパ鉛筆づくりにチャレンジする親子連れの参加者
19日午前、千葉市中央区のアリオ蘇我



新聞を使って実用的な鉛筆を作る、ファミリー向けワークショップ「新聞でエコ工作『自分専用えんぴつ作り』」が19日、千葉市中央区のショッピングセンター、アリオ蘇我で開かれ、小学生や保育園児を中心に約70人の親子連れらが楽しんだ。

身近なものを使ったアート制作の体験教室などを実施する「ピカソプロジェクト」を手がけるエデュセンス（大阪市西区、奥村みずほ代表）が、プロジェクトの一環として主催。最初に産経

新聞大阪本社藤浦淳・編集企画担当部長がゆるキャラや季節の話題を扱った記事を使って「新聞ってなあに？」をレクチャー。その後、気に入った記事でスクラップ帳作りに挑戦した。

鉛筆づくりでは、奥村さんらスタッフの指導を受けながら、子供たちが新聞紙で「ペパ鉛筆」の制作にチャレンジ。古新聞を細長く切り、のりをつけて芯にたくさん巻き付けるだけで、のりが乾くと鉛筆削りで削れるほど硬い鉛筆に仕上がった。